

# 意味を知り人生の道標に

## 安岡さん 論語の魅力講演

出雲

論語の魅力を知って縁結び交流館であつた。約200人が論語の奥深さに浸り、親子で親しむ良さに触れた。

（東京都在住）を招いた講演会が13日、出雲市濱町の出雲文化伝承館

約2500年前の中国の思想家で儒教の祖

孔子の言行を記録した書である論語が、思ひやりの大切さなどを説き、時代を超えて愛されていることについて、安岡さんは「（孔子が）徹底して古典を

学び、人間の根源的な部分に触れてくるから心打つのではないかと解説。そうした魅力があるから「時の『ふるい』にかけられ、今に残っている」とした。会場では「子曰わく



論語の魅力を語る安岡定子さん

…で始まる章句を安岡さんが読み上げ、続けて参加者が音読する「素読」に挑戦。幼少期から「音で楽しむ」ことを勧め、成長につれて意味を知り、人生の道標になると説いた。

講演会は、県東部で論語の普及に取り組む松江市内の「めだか論語普及会」（佐藤京子会長）が主催した。